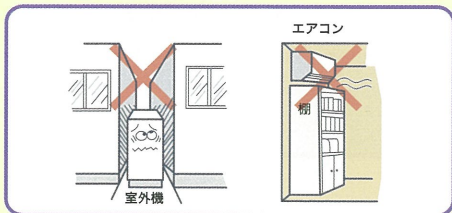


業務用冷凍空調 機器の所有者の責任が増加します

【所有者の義務】

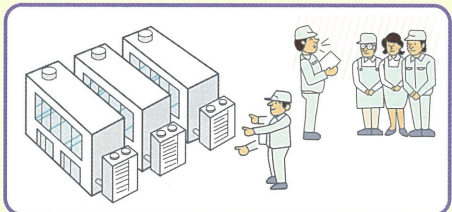
①適切な設置と適正な使用環境の維持保全

〔機器の設置・使用時〕



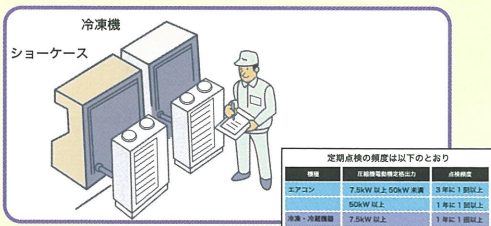
②日常的に簡易点検 (3 か月に 1 回以上)

〔機器の使用時〕



③専門業者による定期点検 (圧縮機電動機定格出力 7.5kW 以上の機器)

〔機器の使用時〕



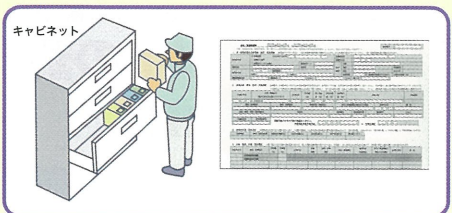
④漏えいの疑いがあるときは速やかに専門業者に点検・修理を依頼

〔機器の使用時〕



⑤点検・整備記録簿に記録・保存

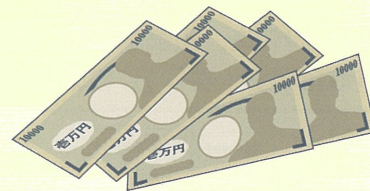
〔機器の使用時〜廃棄後3年〕



【罰則】

①～⑤に対する
違反の場合

50万円以下の罰金※



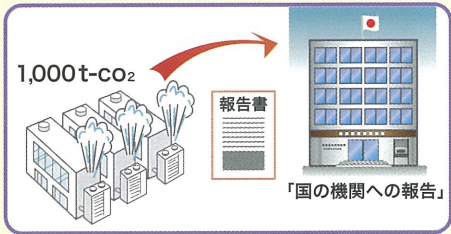
※命令違反の場合。ただし、圧縮機電動機定格出力が 7.5kW 以上の機器を 1 台も所有していない場合は、「指導助言」のみ

【所有者の義務】

【罰則】

⑥算定漏えい量の報告（フロンの漏えい量）
（フロンを CO₂換算で 1000t 以上漏えいの場合）

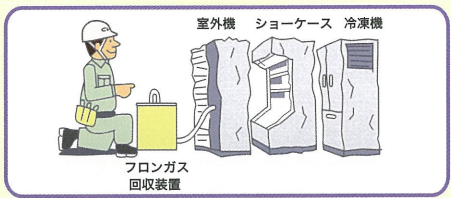
〔機器の使用時〕



未報告、虚偽報告
⇒10万円以下の過料
（直接罰）

⑦廃棄する際はフロン回収を専門業者に依頼

〔機器の廃棄時〕



フロンの未回収
⇒50万円以下の罰金
（直接罰）

⑧フロン回収は書面で専門業者に依頼
（行程管理票の交付・保存等）

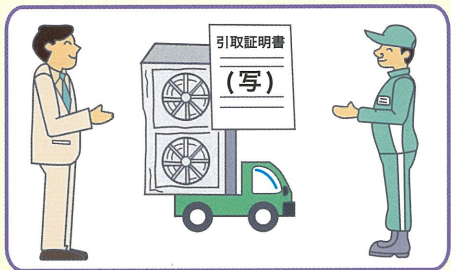
〔機器の廃棄時〕



行程管理票未交付・未保存
記載漏れ・虚偽記載
⇒30万円以下の罰金
（直接罰）

⑨フロン回収後、廃棄する際、産廃業者等へ
「引取証明書（写し）」の交付

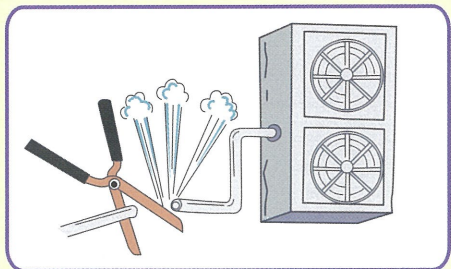
〔機器の廃棄時〕



未交付
⇒30万円以下の罰金
（直接罰）

⑩フロンをみだりに放出してはならない

〔機器の設置時・廃棄時〕



みだりに放出
⇒1年以下の懲役又は
50万円以下の罰金
（直接罰）

（※⑦～⑨違反の場合、命令違反でも 50 万円以下の罰金）